



かいらんは、早めにまわしましょう
令和元年 11月 14日
美深町役場 住民生活課
生活環境グループ 環境生活係

「ごみの分別」について

日頃より、みなさまにおかれましては、ごみの分別にご協力いただき ありがとうございます。北海道知事から「プラスチックとの賢い付き合い方」のメッセージが発信されました。

【知事からのメッセージは、裏面をご覧ください】

●資源プラスチックについて

特に食品の容器と包装のプラスチックですが気にとめていますか。

- ・購入するときに「食べ終わったら」「使い切ったら」ごみとして捨てるときにキレイにしてプラスチックごみとで捨てれる物か。
- ・「拭き取る」「洗う」ごみ出しのルールを実践していますか。
- ・「拭き取る」「洗う」をしないで一般ごみに捨てることは、おやめ下さい。

●資源ごみの分別はプラスチック類、紙類、缶類、びん類ペットボトルです。

同じ袋に混ぜて入れないように注意しましょう！

(現在ペットボトルとびん類は、同じ袋に入れても収集いたします)

※分別されていない場合は、収集できません※

●使用できる袋は、

透明な袋 または、中の確認できる半透明の袋 です。

(ご家庭にあるレジ袋や、市販の袋をお使いください)

●ご家庭にある色付き資源指定袋は今でも使用できます。

指定袋を使い切りましたら、透明・中身の見える半透明の袋をお使いください。(できれば、品名を書いていただくと助かります)

●スプレー缶は、使い切り穴を開けない。資源の日にスプレー缶だけを袋に入れて、お出してください。リサイクルセンターでも受入れしています。

●詳しい分別方法は、各家庭に配布されています 冊子「ゴミわか〜る」をご覧ください。



道民のみなさまへ

“プラスチックとの賢い付き合い方”に関する知事メッセージ

プラスチックは、私達の生活に幅広く利用され、なくてはならないものとして普及しています。一方で、「ポイ捨て」されたプラスチックごみが、河川から海へ流れ出ることにより、地球規模での環境への影響が懸念されています。

本道の美しい海は、世界に誇る「食」や「観光」を生み出す貴重な財産であり、これらを守り、次の世代に引き継ぐためには、プラスチックごみ対策をより一層推進していく必要があります。

そのため、「使いきり」（いわゆるワンウェイ）のプラスチック製品はできるだけ使用しない、使用した際も正しく処分するなど“プラスチックとの賢い付き合い方～プラスチック・スマート～”を一人ひとりが意識して取り組むことが大切です。

職場をはじめ、家庭においても、できることから一つずつ行動を起こしていただくよう、ご理解、ご協力をお願いします。

令和元年10月23日

北海道知事 鈴木 直道

“プラスチックとの賢い付き合い方”

一. マイバッグ等の活用

マイバッグを持参してレジ袋を辞退したり、繰り返し使用できるマイボトルを活用するなどして、「使いきり」のプラスチック製品をできるだけ使わないようにしましょう。

二. 使用後の処分

「使いきり」のプラスチックを使用した場合は、ポイ捨てをせず、ごみ分別のルールに従い、正しく処分しましょう。

三. 地球にやさしい製品の選択

お買い物の際は、「使いきり」のプラスチック製品ではなく、再生プラスチックや紙、バイオプラスチック等の地球にやさしい製品を選びましょう。企業の活動においても、地球にやさしい製品を選ぶよう努めましょう。

四. 清掃活動への参加

海や河川に流れ出るプラスチックごみを減らすため、地域の清掃活動に積極的に参加しましょう。

お買い物にはマイ
バッグでござる！



環境忍者
えこ之助

